SHIBECHA

しべちゃ議会だより

恵みの丘の阿歴内っ子・新しい学校で大きく羽ばたこう

第101号
平成28年2月1日発行
発行／標茶町議会
編集／広報調査特別委員会
電話／(015) 485－2111
住所／標茶町川上4丁目2番地

12月第４回定例会

27年度補正予算可決

一般会計　**3億8,019万9千円の追加**
下水道事業　**3,800万円の減額**
介護保険事業　**21万6千円の追加**

一般質問　**町政を問う**　6名　8件の質問

意見書　非婚ひとり親家庭に寡婦（夫）控除の適用を求める意見書可決

平成26年度決算認定

第３回臨時会・ごみ焼却場新設予算可決

第四回定例会

平成27年度補正予算可決

一般会計で3億8,019万9千円の追加

平成27年度一般会計、下水道事業、介護保険事業の補正予算が全員一致で可決されました。

主なもの

- 除雪対策費　1億3,773万8千円
- 農業振興費　8,878万9千円
- 牧野管理費　7,987万4千円
- 農業用施設災害復旧費　2,978万7千円
- 小中学校耐震工事費　3,551万1千円

他に下水道事業は、3,800万円の減額
介護保険事業は、21万6千円の追加でした。

条例の制定

マイナンバーに関する条例が制定されました。（8ページ参照）

条例の一部改正

○標茶町税条例等の一部を改正する条例の制定について

徴収猶予制度の改正及びマイナンバー制度の導入により税条例の一部改正を行ったものです。

○標茶町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

マイナンバーに係る改正と、第1号被保険者が、刑事施設、労役場等に一か月を超えて拘禁されたときについての項目を加えたものです。

○標茶町立学校条例の一部を改正する条例の制定について

平成28年3月末で阿歴内小中学校が統廃合になるので、条例から削除するものです。

○標茶町スクールバスの運行等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

阿歴内小中学校統廃合に伴いスクールバス路線を変更するものです。

櫻井一隆　後藤勲　熊谷善行　深見迪　黒沼俊幸　松下哲也　川村多美男　渡邊定之　鈴木裕美　平川昌昭　本多耕平　菊地誠道　舘田賢治

一般質問

町政を問う

第四回定例会では、六名の議員が八件の一般質問を行いました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。

障がい児(者)の保護者を支援するレスパイト事業の開始を

渡邊　定之議員

町　長　支援制度をさらに充実させる

問　本町には、特別な支援を必要とする子どもや大人が少なからずいる。その親や保護者は、介護から離れられずにいて、心身ともに疲れきっている。家族の困難な状況、特別な支援を必要とする人たちが急激に増加している状況について、何らかの社会的援助が必要と思うが、町長の所見を伺いたい。

　また、障がい児(者)は特別な存在ではなく、社会的にごく普通の存在であると思うが、この点についても町長の所見を伺いたい。

　介護をする家族が、一時的に、一定の期間、あるいは必要に応じて介護から開放され日頃の心身の疲れを回復することが、家族にとっても必要なことであり、さらには、余裕をもってまた新しい気持ちで障がい児(者)と接することができると思う。そのためにも、レスパイト事業がもう必要な時期にきていると思うが、レスパイト事業の実施を行う考えはないか。

答　障がいがある方もない方も地域社会の中で安心して暮らしていける社会の実現ということが基本である。特別な支援が必要な人には、様々な政策を展開し地域でともに支えあう社会づくりが求められる。

　現在、町において障がい者支援の様々なサービスを行っている。名称はレスパイト事業ではないが、これらの制度をさらに充実し、不足している分野について補完をしていきたいと考えている。

その他の一般質問

渡邊　定之議員

TPP阻止の運動をさらに進めるべきではないか

問　TPPが「大筋合意」したとする閣僚声明が発表された。日本でも各国でも議論自体が始まっていない段階であると思うがこの点での町長の所見を伺いたい。

　多くの農業関係者の中でも不安と失望の声が広がっている。「大筋合意」について町長の所見を伺いたい。

　TPP参加反対について今までオール北海道の大きな運動が展開された。本町も議会や農協、消費者協会、商工会、幅広い町民と連携し、TPPの批准を許さないオール標茶の運動をするべきと思うがどうか。

答　TPPの発効については、各国議会の承認が必要であるが、我が国では国会召集もされていないのが現状である。

　大筋合意については、多くの農業者から失望や将来に対する不安の声も聞いている。機会あるごとにともに反対の声を上げてきた者として残念な結果だったと思っている。

　TPPは原則関税撤廃を目指すものである。オール標茶の運動展開については、どんな運動が求められてくるのか関係機関と協議し、進めていきたい。

役場庁舎の看板

18歳以上の選挙権行使について、選挙啓発活動の徹底を

深見　迪　議員

選挙管理委員長・教育長　若年層への選挙啓発活動を推進していく

問 選挙の投票率をあげることは民主的な政治を行う根幹でもあると考えるが、毎回投票率が低くなっている状況をその要因も含めてどのように考えているか所見を伺いたい。

さらに、これまで20歳台の投票率はどうであったか伺う。また、投票率が低くなってきている要因をさらに深く究明するために、アンケートを取ったり、具体的に面談するなどして実態調査等を行ってはどうか。

有権者の投票行動について体が不自由な有権者に対して要望を聞き足の確保をしたり、自宅や施設での投票が可能になるようにしてはどうか。

18歳、19歳の有権者は直近の選挙でどのくらいの人数になるか。

18歳からの選挙権は70年ぶりの大改革である。小中学校でのカリキュラムはどうなっているか。また、若年層への啓発活動をどのように考え、どう効果的に行うのか。

答 投票率が低下傾向にあることは、民主政治の発達に影響を及ぼすことも懸念される。また、投票率の低下要因は、有権者それぞれの事情によるものである。

有権者に対しての投票する機会の確保等は、必要に応じて国が法改正をすると考えている。

満18歳及び19歳の人数は、4月時点で102名である。20歳台の投票率は、4月の知事選挙で、役場投票場では約49％であった。

今後も若年層への選挙啓発を推進していく。小中学校では、「我が国の民主主義は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることや人間の尊重・基本的人権」を学習することになっている。

投票所風景

その他の一般質問

深見　迪議員

米軍実弾射撃訓練実施に対する要請の徹底を

問 矢臼別演習場における米軍実弾射撃訓練が本年も行われた。

町長は、「連絡会議」が今回の訓練に対し、訓練が固定化されないこと、夜間訓練の自粛、音の制限等々申し入れ・要請を行ったと報告したが、その要請は守られていないと思うが実態はどうか。

事前の説明会では、他の町村からも時間帯は酪農業の搾乳時間と合わないという意見も出ていた。この点についても要請をするべきと考えるがどうか。

答 この間、地元4町並びに北海道により設置された「矢臼別演習場関係機関連絡会議」において地元自治体や地域住民の安全、安心の確保と不安解消や負担軽減を図るべく、要請活動を行なってきたところである。

要請に対し、概ね履行されているものと認識しているが、夜間の実弾射撃訓練については、残念ながら実施された。この状況に対し、北海道知事から周辺地域が全国有数の酪農地帯であることも踏まえ、地元の意向を十分尊重するよう再度要請を行ったところである。

ノーリフトケアを導入すべきと考える

本多　耕平　議員

町　長　介護知識や技術の習得をして安心なサービスを行う

問 本町の高齢者数は、第6期介護保険事業計画では平成29年度2、470人、高齢化率32．2％と見込まれている。今後とも高齢者が健康でいきいきと生活でき、住み慣れた地域で継続した生活が送れるような施策、対策が益々必要で協力に推進していかなければならない。

しかし、様々な要因で、老人ホームまた民間施設へ入所せざるを得ない方々、病気、ケガ等で入院される方々など介護、治療を受けている住民が多くいる。

今年6月、NHK「おはよう日本」の放送でノーリフトケアの取り組みが取り上げられた。内容は、ノーリフトケアを取り入れ、職業病とも言われる腰痛を予防し労働環境を整え、より良いケアの提供を考えるとの内容であった。過日、やすらぎ園々長とも意見交換をしたが、町として今後病院、介護施設職員の労働環境改善、又、入園者、入院患者の処遇改善に最も必要と考えるノーリフトケアの導入、もしくは取り組みを考えていくことが大事と考えるが、町長の所見を伺う。

答 町立病院及びやすらぎ園では、ベッドからストレッチャーに移乗する場合、現在では職員に過度な負担がかからないよう、体の下に敷く福祉用具のスライドシートを使用し複数名で介助している。おむつ交換をする場合は電動ベッドの導入、2名で介助するなど、労働環境改善に努めている。

やすらぎ園では施設ケアプランに位置づけている。複数名の介助や福祉用具を利用した介助を実施しており、現在ノーリフトの考えに沿って導入が始っている。職員研修の実施により、安全安心なサービスを行っていく。

スライディングボードを使用した移乗（介護）

食肉加工センター建設の見通しは

櫻井　一隆　議員

町　長　建設予定地は早期に確定する

問 我々議員もデリケートな問題という案件なので、議会での発言を控えてきた。しかし、いまだに建設予定地も定まらず、いたずらに時を失うばかりで、その方向性も見えていない。また、町長の考えは町民には伝わらず、中には半ば諦めといらだち、さらには町長のリーダーとしての資質を疑問視する声もあることはまことに残念に思う。標茶町民に対して、今の状況と今後の展望を説明してはどうか。以下について質問をする。

一、厚岸漁協との話し合いにおいて、今までどのような提案をし、その回答はどのようなものであったか。

二、建設予定地の確定はできたのか。

三、建設に向けて、今後の予定を示して頂きたい。

答 平成27年3月に根釧と畜場、食肉加工処理施設整備検討委員会を立ち上げ、話し合いを進めてきた。中でも下流域関係者との話し合いに関しては、慎重に進める必要があるとの考えできたが、話し合いが難航し、現在、建設予定地の決定に至っていない。

提案内容は、建設計画の中での浄化施設の概要そこから排出、放流予定の水量や水質と流域河川への負荷量等、自然に近い状態での放流も考慮した浄化方式の提案や湖水環境の保全に対しての支援提案をした。しかし、回答は、施設の必要性は理解したが、提案内容の評価ではなく、湖に処理水が流入することで、環境変化が起き、将来、生産に支障が出るのではとの懸念から同意しなかった。建設予定地は、新しい候補地も含め早期に確定する。今後の予定は、どうしても必要なものだということを地域、道、国に対して粘り強く主張しながら進めていく。

2016年3月で廃止される北海道畜産公社 釧路事業所

町発行の敬老パスが不評な為、改善する考えはないか。

後藤　勲 議員

町　長　付加価値の高いものとなるよう検討していく。

問 現在70歳以上の町民に発行されている敬老パスはほとんどの人が使用しておらず、使用しているのは遠方から来る人が病院等に来るためで、ほんの数人しか利用しておらず意味がない。

また、ふれあい交流センターの入浴も1日10人足らずしか使用していない。ただ単に70歳になったからといって発行しているだけでは意味がなく、もう少し町民に値のある改善方法を考えるべきではないか。

答 平成26年度の利用者は、18、120人で一日当り36人が利用している。地域の高齢者にとっては、敬老パスを通院等の手段として有効に活用していると思っている。高齢者へのアンケート調査を行っており、それらを参考にしながら検討していく。

ふれあい入浴では、一日平均9・4人の利用となっており、このほか、健康増進を目的として一定の利用をしていると理解している。

障がい児の居る世帯に地域生活支援事業の拡大を

鈴木　裕美 議員

町　長　増額も含め検討していく

問 障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律は、基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活、又は社会生活を営むことができるよう、地域の特性や利用者の状況に応じた柔軟な事業形態による事業を実施し、障がい者等の福祉の増進を図るとともに障がいの有無に関わらず安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与することを目的としている。

地域生活支援事業には、必須事業と市町村の判断により自立した日常生活、又は社会生活を営むために必要な事業、任意事業がある。

本町の実施している任意事業の一つに自動車運転免許取得、改造助成事業があるが、対象者が身障手帳一、二級を有する肢体不自由者のみとなっていて、障がい児は対象になっていない。

障がい児も日常生活や社会生活を営むことができる環境づくりが必要と考える。

自動車改造助成の対象を障がい児の居る世帯に拡大する考えはないか。

また、助成金上限十万円を増額する考えはないか。

答 標茶町障害者用自動車改造費助成に関する規則の規定により、障害程度1、2級の肢体不自由者で、就労に伴い、自らが所有し運転する自動車で走行装置及び駆動装置の改造にかかわる経費を対象に助成している。

今後も、障がい児、障がい者がみずからの決定意思に基づき、社会のあらゆる活動に参加する主体として捉え分け隔てられる事のない他者と共生する事ができる社会の実現が重要であり、障がい児、障がい者の介護者が運転する自動車についても、増額も含め助成対象とする事を検討していく。

予算審査特別委員会　総括質疑

松下　哲也 議員

問 町営バスの乗降場所を市街地金融機関前に増設する事はできないか。

答 地域住民の要望を聞き地域交通会議で話し合い検討していく。

バスターミナル

問 バス料金の支払方法に回数券の方法はできないか。

答 現在は考えていない。検討課題としてとらえていく。

問 冬道、特にアイスバーン状態での町営バスの安全運行対策は。

答 最大限の安全運行対策を取って行く。

櫻井　一隆　議員

問　虹別地区の除雪対策は十分にできているか。

答　虹別の除雪は建設課の指示のもと、民間3社と直営で7時20分までに路線の確保に務めている。

待機する除雪車

渡邊　定之　議員

問　冬期間スクールバス安全運行のため、方向転換スペースを確保すべきではないか。また、除雪車運行等は連絡を密に行うべき。

答　方向転換スペースについては、要望も上がっているので対応していきたい。委託業者、学校、役場が連携し、連絡を密にしていきたい。

黒沼　俊幸　議員

問　9月定例会で予算化されている磯分内下水終末処理場は現在、工事が終わりに近づいているが、工事の進捗状況と成果について伺う。

磯分内終末処理場

答　平成28年2月末までの工期だが11月末で主だった工事が完了し12月から試運転を行うこととなっており、今度の工事で処理場は大丈夫との考えである。磯分内地区では他の地区より水温が低いことが問題の原因と考える。

深見　迪　議員

問　いじめの認知件数は何件か。

答　今年度は前期に4件あったがいずれも解決済みである。

問　通学路交差点の歩道、出入り口の除雪、滑り止め対策を。

答　除雪業者とも連絡を取り対策をとっていきたい。

登校時の歩道除雪

問　遠距離通勤が多くなっている教職員の冬期間の通勤の安全確保に配慮してはどうか。

答　子どもたちはもちろん先生たちの安全確保は指導していきたい。

問　役場職員の再任用の人数は、今後増えていくのか。また、再任用の勤務時間、年数は何年か。

答　年金支給開始が伸びていて最終的には65歳になるので増えていくことは想定される。当面勤務時間は4分の3である。今後国の動向を注視していきたい。

平成27年第4回定例会賛否一覧

※これ以外の議案等は全員一致です。

議案等の内容 ＼ 議員名	櫻井一隆	後藤勲	熊谷善行	深見迪	黒沼俊幸	松下哲也	川村多美男	渡邊定之	鈴木裕美	平川昌昭	本多耕平	菊地誠道	舘田賢治	結果
議案第64号 標茶町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について	○	○	○	×	○	○	○	×	×	欠	○	○		原案可決
意見書案第23号 安保関連法の強行採決に厳しく抗議し、廃止を求める意見書	×	×	×	○	×	○	×	○	○	×	×	×		原案否決
意見書案第24号 義務教育費国庫負担制度堅持等2016年度国家予算編成における教育予算確保・拡充に向けた意見書	×	×	×	○	×	○	×	○	○	×	×	×		原案否決
意見書案第25号 国会決議に反するＴＰＰ交渉「大筋合意」撤回を求める意見書	×	×	×	○	×	○	×	○	○	×	×	×		原案否決

○ 賛成　× 反対　退 退席　欠 欠席　（議長は、採決に加わりません。）

※お詫びして訂正致します。
第３回定例会賛否一覧で一般会計補正予算で渡邊議員が○になっていましたが×でしたので訂正致します。

総務経済委員会 審査報告

・標茶町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について

11月17日の総務経済委員会に付託され、委員会は「原案可決すべきもの」と審査結果を報告し、第四回定例会で賛成多数で可決しました。

意見書

「非婚ひとり親家庭に寡婦（夫）控除の適用を求める意見書」

全員一致で可決し、国の関係機関に送付されました。

第三回臨時会

11月26日、第三回臨時会が開催され、標茶町一般廃棄物エネルギー回収推進施設建設工事（ゴミ焼却場）費補正予算が提案され、可決しました。

契約金額は、14億9千40万円です。

平成二十六年度 決算審査特別委員会 総括質疑

深見 迪 議員

問 土地開発基金の積立金を減らし、住民サービスに優先的に使うべきではないか

答 議会とも相談しながら、必要な時期には条例の見直しについて検討していきたい。

問 マイナンバー制度による住民被害、個人情報漏洩を防ぐ対策はできているか

答 住民を守る立場は当然で、住民が安心して暮らせる事は行政の役割だ。今後の大きな課題である。

問 教職員の長時間労働を解消し、子どもと向き合う時間をもっとつくること

答 長時間労働については、課題があると認識している。子どもと向き合う時間の確保は大事なことである。実態調査は今後の課題とする。

問 富士公園や桜公住の児童遊園地など、子どもの安全を守るための整備を急いですること

答 子どもらが集まるところなので、安全第一ということで、日々の点検、補修等は行っていきたい。

問 高齢者や特別な支援を必要とする子どもたちを対象とした民間の福祉サービス事業所の評価を具体的にすること

答 社会福祉だけではなく、まちづくり全般にわたって、公平性等々も考えながら検討していく。

渡邊 定之 議員

問 自力での除雪が困難な農村地域での高齢者世帯の除雪対策を

答 ほとんど住宅の玄関近くまであけているが、その都度広くあけるのは作業の時間もあって難しい。

問 特別な支援を必要とする人たちに対する職場適応援助者（ジョブコーチ）による支援事業で、雇用の拡大ができないか。

答 ジョブコーチについてはもう少し勉強していきたい。障がい者の工賃を少しでもアップしていくことを検討していきたい。

問 TPPが大筋合意したが、標茶の基幹産業である酪農等への影響と今後の方向性についてどう考えているか。

答 本町の基幹産業をどうやって守っていくのか、関係機関、生産者が一丸となって知恵を集めて対策を考えていくことが重要だと考える。

櫻井 一隆 議員

問 標茶霊園の通路が傷んでいる。全面修理をしてはどうか。

答 新墓地の工事は二回に分けて造成しており、園路の方も傷んでいるので現在、補修を行っている。

後藤 勲 議員

問 常盤パークゴルフ場の草刈りは高齢者事業団と契約しているが、どの様な契約内容になっているか。

答 月何回という回数も含めて契約している。

問 常盤パークゴルフ場内の園路をジョギング、ランニングに利用している。冬期間、除雪はできないか。

答 遊歩道として冬場も除雪しての使用は考えていない。

問 施設案内標識が非常に分かりづらい状態であるが、どう考えるか。

答 今後については都市計画審議会の意見を伺いながら進めていきたい。

本多 耕平 議員

問 豪雪などで破損したスノーポール、ブルーシートを張った法面部分の復旧は、どうなっているか。

答 北海道の事業で整備された路線で、今回、道との協議が進行中で、来年度以降の見込みである。

問 **標茶中茶安別線で標茶側からの工事を国道272側から進めては。**

答 受益者の多い区間から進めることについては実施の調査設計が済んでいないのではっきりしないが、事業上は支障はない。

総務経済委員会 所管事務調査報告書

○調査日時
平成27年11月26日

○調査場所
標茶町議会議員室

○調査事項
食材供給施設の今後のあり方について

○調査内容
施設担当課職員及び森山副町長から施設の運営主体の変遷さらに今後の運営のあり方の説明を受け、質疑を行った。

○委員会の所見
平成10年4月管理運営者㈱標茶町振興公社により「オーベルジュピルカトウロ」としてオープン以来、食材供給施設として通年運営をしていたが、平成16年3月に休館、16年6月に再オープン、20年3月に休館、21年4月再オープン、25年9月休館、現在に至っている。
開設以来管理運営者が三度変更され、通年運営は無理と判断をするとともに食材供給施設自体の今後のあり方は、建物、地域性を考慮し、郷土館としての再出発が最もベストな利用との意見が出された。
塘路住民はもとより多くの町民が施設の再利用を一日も早く望んでいることを踏まえ、利用方法を検討され平成28年度予算に計上すべきと判断される。

厚生文教委員会 所管事務調査報告書

○調査日時
平成27年7月27日

○調査場所
標茶町議会議員室

○調査事項
国民健康保険制度の広域化と町の課題について

○調査の経過及び内容
始めに、説明員より「標茶町国民健康保険制度の現況と国民健康保険の広域化について」資料に基づき説明を受け質疑を行った。
・国民健康保険の加入状況
平成20年度の後期高齢者医療制度のスタートから45％台となっている。
・被保険者と全人口の割合
平成20年度から42％台になり現在は37％台である。
・国民健康保険制度の広域化
タイムスケジュールについては、平成30年4月の新制度スタートの予定だが、新システムの詳細については未発表である。

○委員会の所見
新制度の詳細にわたる内容については、国のほうから示されていない状況であり、具体的な内容が示された段階でさらに調査を行う必要があるため、今回の調査は終了する。

○調査日時
平成27年11月13日

○調査場所
標茶町議会議員室
標茶町特別養護老人ホームやすらぎ園
ＪＡ北海道厚生連特別養護老人ホーム摩周

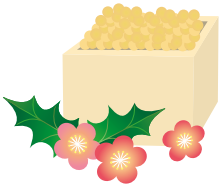
○調査事項
介護保険施設の現状と課題について

○調査の経過及び内容
①標茶町特別養護老人ホームやすらぎ園
説明員より「やすらぎ園の状況」及び「指定介護老人福祉施設の重要事項説明書」について資料に基づき説明を受けた。
入居者の状況は、定員100名に対し98名の入居者で、男女別では3対7の割合で女性が多く、年齢構成は80歳以上が最も多い。
②ＪＡ北海道厚生連特別養護老人ホーム摩周
小林施設長からパンフレットに基づき、施設の概要、施設の基本方針等について説明を受けた後に、施設内を視察しながら説明を受ける。

○委員会の所見
やすらぎ園はかなり老朽化している。大規模改修を以前にも行っているが、施設のリニューアルについては、個室も含めて考えていく必要がある。政策的にも財政的にも計画的に考えなければならない。
入居者が寝たきりにならないような、手厚い介護の在り方についてもさらなる取り組みが必要である。
介護度1・2の人たちの実態は、介護をする人や本人の苦労は相当大きなものがある。介護度1・2の人たちもきちんと介護を受けて生活できるよう意を配していかなければならない。
これらは、今後の早急に取り組むべき大きな課題と考える。

第四回定例会 議会日誌から

十一月四日	全員協議会
十一月十三日	厚生文教委員会所管事務調査
十一月十七日	総務経済委員会条例審査
十一月二十日	釧路町村議会議員研修会
十一月二十六日	議会運営委員会
十一月二十六日	第三回臨時会
十一月二十六日	総務経済委員会所管事務調査
十二月四日	議会運営委員会
十二月八日～九日	第四回定例会
十二月九日	全員協議会
十二月二十八日	議会運営委員会
十二月二十八日	第四回臨時会



駒ヶ丘に舞い降りた丹頂鶴

編集後記

今年度を振り返ってみれば、平成27年4月には統一地方選挙があり、新しく選出された議員で議会がスタート致しました。又、各委員会の構成も変わり定例議会、臨時議会と合わせて常任委員会活動も行ってきました。

第三回臨時会では、約14億9千万円のゴミ焼却場施設の建設が決まり、第四回定例会ではマイナンバー制度に関わる条例が可決されました。

第四回定例会では、6人で8件の一般質問があり、除雪対策について議論が活発に行われました。

標茶町での食肉加工センター施設の建設については、議会、理事者ともその実現に向けて努力しているところです。

標茶町には、児童福祉や老人医療、介護など多くの問題が山積していることをふまえ、「議会だより」編集委員として議会での議論を出来るだけ町民のみなさんに情報提供していきたいと思います。

今年が町民の皆様にとって良い年になるよう願い編集後記といたします。

（文責　櫻井一隆）

平成28年2月1日　発行

発　行・標茶町議会　編　集・広報調査特別委員会
〒088-2312　北海道川上郡標茶町川上4丁目2番地　電話(015)485-2111㈹　FAX(015)485-3199